

キャラクター名
櫻沢 周 (かしざわ あまね)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	FHエージェントA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17歳	性別	男性
覚醒	無知	衝動	加虐	初期侵食率	30 %
出自	親戚と疎遠	経験	大成功	邂逅	欲望：知識の探求

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	0		1			1	(非装備時)	8
精神	6		0			6	戦闘移動	13
社会	2		0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フェイク・ダガー	射撃	9r+2		30+1D		装甲-5
フェイク・ダガー@100	射撃	12r+3		33+1D		装甲-5
女神の誓約@100	射撃	12r+30		33+1D		装甲-5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
AIDA	
STALKER	
キーンナイフ	
デモンズシールド	
サイドリール	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
装着者<アイテムユーザー>	P	N		
AIDA	P 執着	N 不安		
榊 橙也	P 友情	N 食傷		
催馬楽泉：シナリオ	P 尊敬	N 不安		
西方 ウタワ	P 誠意	N 無関心		
黒須 牙狼	P 感服	N 恐怖		
オーロラ	P 有為	N 脅威		

最大財産P: 8 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ノイマン	2	2	-	-	-	-	-	
効果： C値を-LV(下限値7)								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： <白兵>または<射撃>の判定を【精神】で行う								
マルチウェポン	4	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 武器の攻撃力と効果をふたつ合計して利用								
虚構のナイフ	5	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 攻撃に組み合わせて使用。組み合わせた攻撃の攻撃力を+LVx3								
勝利の女神	8	4+1	オート	視界	単体	自動	100%	
効果： 判定の達成値+LVx3、1ラウンド1回								
究極鑑定	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： 未知のアイテムひとつを分析し、その来歴や作成方法、使い道を導き出す								
構造看破	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： 人工的な機械や建造物などの構造を、見た瞬間に解析できる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

○経歴
いつノイマンの能力に覚醒したのかは定かではないが、物心ついたときから周は「頭が良かった」。
家族仲が別段悪いわけではなかったが、視点や知識量の差異から少しずつ綻びはじめ、次第に踏み込んだ会話は少なくなっていった。
人と何が違うのか解らなかった彼が自分の方が異常な存在なのだと理解したのは中学生の時だった。
頭脳明晰ゆえに危険察知能力も高く、対処の方法を割り出すことも当然にこなしていた周だが、運悪くFHの引き起こした破壊活動に巻き込まれた際に「状況を把握したが、対処が叶わない」事態に直面する。
そこで死んだ—そのはずだったが、リザレクトで目を覚まし、居合わせたFHエージェントに能力を見出された。
そこからの理解は早く、オーヴァードのこと、FHのこと、そしてUGNのことを把握したうえで、周はFHエージェントとして活動することを決めたのだった。

○概要
どこか冷めたように、淡々とややぶつきらぼうに話す少年。
ノイマン能力に起因する頭の良さゆえに家族と疎遠になり、また学校のクラスメイトに対しても隔意を感じている。
自分が優れていると思っているというよりは、一般人との知識量の差が大きく、対等な会話ができないために関心を持ちづらいようだ。
とはいえ穏便に過ごすのが一番と認識しているので、何だかんだ合わせて上手くやっている。
相手がオーヴァードであれば、世界のことや能力のことという共通の話題があるため、会話に飽きることはない。
FHセルに参入した後、開発されていた戦術支援用AIの「AIDA」に適合する。
そこからレネゲイドを帯びた道具に興味を惹かれはじめ、それらを生かした戦闘スタイルを身に着けるようになった。
UGNという組織の存在も知らされているが、「正義」を掲げることには周は意義を見せず、<アイテムユーザー>としての在り方を好みに突き詰めていくことができるFHを選んでいる。
実は言葉少なというほどもなく、割と打てば響くタイプで、興味関心を持った人や物に対しては懸命。
特に譲り受けた「AIDA」への思い入れは強く、そこに僅かに残されている自我がどのようなものであったか知りたく感じることもある。
装着した状態で人知れず意思疎通を図ろうと試みることもあったりするが、特に返事は受け取れないようだ。